

世界エイズ戦略2021-2026

NCGM エイズ治療・研究開発センター

不平等に終止符を、そしてエイズ終結を

国際社会は「2030年までに公衆衛生上の脅威としてのエイズ終結」を目標に、「世界エイズ戦略」に基づいて HIV/ エイズ対策を推進しています。新たに採択された「世界エイズ戦略 2021-2026」は、「不平等に終止符を、そしてエイズ終結を」をキーワードに、エイズ流行の最大の拡大要因とされる「不平等」に焦点を当て、エイズ終結を妨げている格差を解消するための大胆なアプローチとなっています。これまでの戦略を軌道修正し、すべての国とコミュニティにおいて効果的な予防と治療、社会的支援が提供されるように、そしてエイズ終結と健康への権利が実現できるように、今後5年間にエビデンスに基づいて優先的に取り組むべき目標が示されています。また、世界が HIV と新型コロナウイルス（COVID-19）の2つのパンデミックから得た知見によって、対策の相乗効果を高めることの重要性も強調しています。

人びとを中心に据えた不平等解消の枠組み

戦略の構成

「世界エイズ戦略 2021-2026」は、相互に関連する優先事項、5つの分野横断的な課題、10の分野のリザルトエリアで構成されています。

- リザルトエリア**
1. HIV 予防
 2. HIV 検査、治療、ケア、ウイルス量抑制、および統合
 3. HIV の母子感染

- リザルトエリア**
4. コミュニティ主導の対策
 5. 人権
 6. ジェンダーの平等
 7. 若者

3つの戦略的優先事項

- 1 | HIV サービスと解決策の公平で平等なアクセスを最大限確保する。
- 2 | HIV 対策の成果達成を阻む障壁を打ち破る。
- 3 | 資金を十分に確保して効果的な HIV 対策を維持し、保健、社会保護、人道危機、パンデミック対策との統合を進める。

5つの分野横断的課題

- 1 | リーダーシップ、各国の自立、アドボカシー
- 2 | パートナーシップ、多部門の協力
- 3 | データ、サイエンス、リサーチ、イノベーション
- 4 | スティグマ、差別、人権、ジェンダーの平等
- 5 | 都市、都会化、居住環境

10分野のリザルトエリア

- | | | |
|--------------------------------|-----------------|-----------------------------|
| 1 HIV 予防 | 4 コミュニティ主導の対策 | 8 十分な資金に裏付けられた効果的な HIV 対策 |
| 2 HIV 検査、治療、ケア、ウイルス量抑制、および統合 | 5 人権 | 9 HIV 対策の保健、社会保護システムへの統合 |
| 3 HIV の母子感染 | 6 ジェンダーの平等 | 10 人道危機およびパンデミックへの対応 |
| | 7 若者 | |



出典：UNAIDS「エイズに関する国連総会ハイレベル会合プロセスの日本語仮訳版」